

# 地区だより

VOL 27 1996.1.23

発行 西湘放射線技師会

1996年の新春を迎え、会員の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、皆様の御協力と役員の方々の御尽力によって、西湘放射線技師会35年・X線発見100年記念式典をはじめとする行事も無事に運営することができました。本年もよろしく願い申し上げます。

好景気ははじけて以来、何かと不安材料ばかりがマスメディアから流れてくる昨今ですが、世の中は確実性が無い地殻変動に揺れている感があります。

その中であって医療界の小さな団体である診療放射線技師会は発声を大きくし、存在をアピールしていかなければ、大きな波（例えば、行政改革、医療費削減、技師学校問題等々）に呑み込まれる恐れもあります。

幸いにして、昨年に開催されたX線発見100年記念総合学術大会における、秋篠宮妃殿下、中嶋WHO事務局長をはじめとする来賓の御挨拶に見られるように、放射線技師会の永年に亘る活動が、確実な評価を得ております。

これには、云うまでもなく、中村 實会長をはじめとする諸先輩の方々の功績に負う訳ですが、会員である私たち一人一人が協力を惜しまず団結して来た成果でもあると考えます。

本年も皆様の御支援をいただき、役員一同、当技師会の運営に携わって参りますので、御指導御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

西湘放射線技師会会長 小宮 邦雄



## 地区委員会報告

日時：平成8年1月19日（金） 18：30～20：30

場所：神奈川県放射線技師会事務所

### 理事会報告

#### 1) 平成8年賀詞交歓会の報告

会員97人、賛助会員103人の参加を頂き、盛大に行われました。

#### 2) ボウリング大会について

日時：平成8年3月2日（土） 14：30～ 会費：1000円

場所：ブランドウィック横浜 申込みは地区委員までお願いします。

#### 3) 第3回神奈川学術振興フォーラムの開催について

日時：平成8年2月17日（土） 13：00～ 18日9：30閉会

場所：熱海『かど半別館』 参加費：10000円

プログラム：特別講演 『大震災を語る』

講師 神戸大学医学部付属病院 今井方丈先生

パネルディスカッション『あなたの施設の防災対策』

パネラーに、県立子供医療センターの放射線技師の日置稔さんが加わっています。各施設で防災対策に関心のある方の出席を歓迎します。

1月31日（水）までに技師会事務所まで申し込んで下さい。

#### 4) 第42回関東・東京部会合同研究発表会

日時：平成8年2月3日（土） 9：00～ 17：20

平成8年2月4日（日） 9：00～ 12：20

会場：『千葉市民会館』 参加登録費：3000円（当日3500円）

本県に10題お願いしたいそうです。技師歴3～4年の人に機会を与えて下さい。

#### 5) 第12回胸部X線画像評価研修会

日時：平成8年1月25日（木）、26（金）、27（土）

平成8年2月9日（金）、10（土）

平日18：00～21：00 土曜日16：00～19：00

会場：『神奈川県立ガンセンター』 参加費：10000円

#### 6) 事務所購入について

空き室が出たので501、502、503号室を続けて事務所としたい。

新たな募金活動はしない。

地区委員 岩倉

予 告

## 平成七年度西湘放射線技師会定期總會

西湘放射線技師会  
会長 小宮 邦雄

日時 平成8年3月22日(金)  
午後6時30分から

会場 小田原市立病院 2階会議室

議題 1) 平成7年度事業報告  
2) 平成7年度会計報告  
3) 平成7年度監査報告  
4) 平成8年度事業計画 (案)  
5) 平成8年度会計予算 (案)  
6) その他

### 会費納入のお願い

平成7年度分西湘放射線技師会 会費を納入されてない方は、下記口座まで至急納入して下さい。

賛助会員 3000円  
会 員 2000円

駿河銀行 国府津支店 店番号402  
西放技会計 和田 明彦 口座番号 1798361

## アメリカ航空留学記

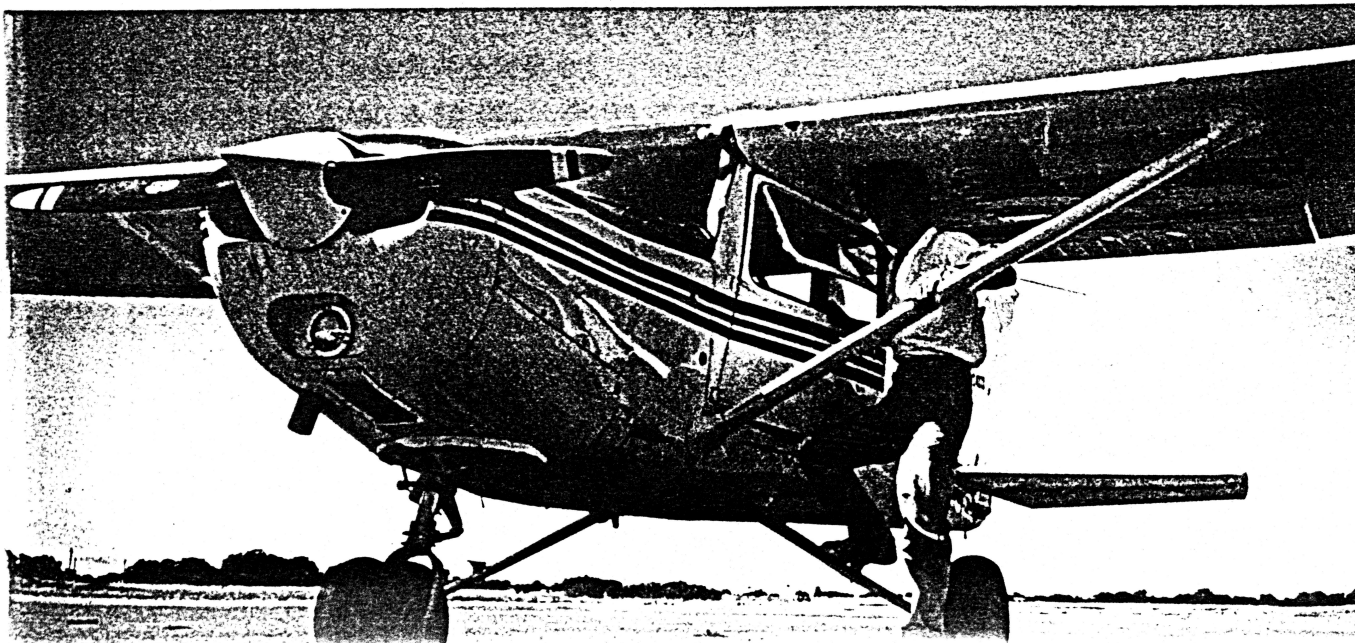
(株)メディカルテック  
大久保 靖史

私の趣味は「空」です。子供の頃からの夢が昂じて、航空学生として自衛隊航空隊に入隊したのが12年前。初めて触れた航空機を操縦して大空を飛んだ時の事は今でも忘れられません。飛行時間は約30時間、免許取得まであと一步という所で理由あって4年間勤めた航空機の世界から放射線の道を歩む事になりました。今ではお陰様で充実した毎日を過ごしておりますが、その様な経歴から私は今でもプライベートで空を楽しみたいという思いがあり、昨年の円高チャンスを機に、アメリカへの航空留学を試みることにしました。

今回の留学の目的は、数年ぶりの操縦の勘を取り戻すことと、国際的に有効な免許の取得、さらに自分の空への可能性を時間の許す限り挑戦してみることでした。

渡米先は殆ど降雨の無い天候の条件と、将来的なロケーションの良さからカリフォルニア州のサンノゼを拠点を選び、取締役の御理解を得て約2ヶ月の休職を施して頂き、パスポートを作成し、航空留学生ビザを米大使館から取り寄せて7/6 出国いたしました。

約10時間後サンノゼ国際空港に降り立ち、その空の青さに暫し見とれる暇もなく訓練空港へと移動して、セスナ172という4人乗りの一般的な小型機で早速1回目のフライト訓練に取りかかりました。一番に驚いたのは、その壮大な景色と天候の良さです。その後の連日のフライトでも見飽きる事はありませんでした。操縦の勘も予想よりも早く取り戻せて少しは見通しが立ちましたが、やはり管制塔からの生の英語はカリフォルニア訛りがあって聞き取りにくいものでした。その後訓練を重ねつつ米学科試験をクリアして予定より早く約一月後に実技試験を受け、何とか一回で自家用単発の免許を取得できました。実技では試験官に上空で突然エンジンを止められたまま緊急着陸するなどハードな試験もありましたが、最後に笑顔で "You're passed." (合格です) と言ってくれた時はまさに感無量でありました。



さて、まずは最初の目標を達成したところで次にグライダー（翼の長い滑空機）に挑戦するため、それを専門に行っている別の飛行場へ移ることにしました。今度の訓練地は車で4時間ほど北上した所にあり、日本人を受け入れるのは初めてとのことで私もかなり緊張していましたが、そこには古き良き時代の飛行機乗りの姿が残っていて、直にザックパランに打ち解けることができました。飛行教官も米空軍上りの若いパイロットが多く、彼らも毎朝各々の飛行機で出勤してきます。飛び方も個性豊で、それを見るのも楽しいものでした。ところで、グライダーはセスナ機とは違いエンジンが有りませんので、離陸時のみ別の飛行機かウインチ等で牽引してもらう必要があります。アメリカでは飛行機を使うのが一般的で、彼らと呼吸を合わせて毎日訓練を行いました。着陸も一発勝負なのでとても緊張しますが、飛行中の静寂さと風を感じる機体、先々の流れを読む技術など、セスナ機にはない多くの魅力がありました。連日、風の様子をうかがいながら8回前後のフライト（一回40分～数時間）を行い、手足がパンパンに張るまで訓練を続けました。単独飛行にも慣れてきたある日、マウンテンウエーブと呼ばれる強い上昇気流を捉えられ、セスナ機の上昇限度一万フィートを越えた1万4千フィートまで上昇することができました。酸素の準備があれば更なる高高度を狙えたのですが、素晴らしい思い出となりました。

そして、口頭試問と実技試験を無事クリアして免許を取得した後も、セスナ機で訪れては飛行を楽しみました。



ところで、カリフォルニア地方には静かで美しい湖が多々見受けられ、毎回その上空を飛ぶ度に、このまま着水してみたいと思っていました。という訳で、予定期間にも余裕ができたため、今度は水上飛行機に挑戦してみたく、資料を集めて検討しましたが、訓練地は比較的少なく、しかもリゾート関係地が多いため費用も割高でした。しかし1300km程離れたアリゾナ州のコロラド川流域の訓練校が色々な条件面で適当であると分かり、早速移動することにしました。

当初はセスナ機をレンタルして移動する予定でしたが、借りる期間が長くなるため費用の面からレンタカーに変更し、延々12時間程ドライブすることになりました。ひとつ分岐点を間違えると40～50kmはすぐに逸れてしまいます。注意深く運転しましたが、郊外ではガソリンスタンドが予想より少なく、砂漠地帯の途中で引き返す場面もありました。郊外のハイウェイには街灯も無く、真っ暗やみの中、数十分に一台対向車がすれ違って行きます。本当に着くのだろうかと不安になって数時間後、山を越えた所でようやく目的地であるBullheadCityの街の明かりが見えました。

しかもそこは歴史上ラスベガスとも縁のあるカジノの街で、全体が輝いて見えます。まるで吸い込まれるようにホテルへと向かい、そこでまず驚いたのが宿泊費でした。リゾートホテルなのに一泊たったの\$15、二泊目以降は\$12、食事もステーキで約\$4と一桁違う程安かったのです。訓練目的で宿泊している私はカジノでお金を使うこともなく、窓から見える壮大なコロラド川を眺めながら明日の教科書を訳し、訓練の準備に取りかかりました。翌日は学校で座学を受け、翌々日は早朝6時からのフライト訓練を予約しました。午前中の方が気流が安定しているため、水上操作で風の影響を受けやすい水上飛行機にとっては好都合でした。コロラド川を北上しながら、半日で45回の離着水を繰り返し、川岸に連なる数々のハウスボートを眺め、水上スキーを楽しむ人々を避けるように着水し、時には砂浜に接岸して座学を受けました。モーターボートがそのまま空を飛んでしまう様な面白さは想像以上で、アリゾナまで旅をした甲斐がありました。

後日の実技試験で試験官から Excellentの評とともに水上飛行機の免許を手にした私は、すっかり空の世界にのめり込み、さらに技能を上げたくて、もう少しアリゾナに残り、最後にエンジンを2基有する双発飛行機の訓練を受けることにしました。これは航空機の特性をより把握する上で極めて重要な要素を含んでおり、自衛隊時代に学んだ航空理論を生かして、より安全な飛行技術を得る為に挑戦することにしました。

双発機は単にエンジンが二発になったのではなく、操縦特性や飛行特性が理論的に異なるものだと認識が大切になります。そのためまずは座学で双発理論を理解し、それらの特性を実際のフライトで体験してゆく形で訓練は進みました。特に片発不作動時の対処法については徹底的に訓練を繰り返しました。機体はセスナに比べて3倍位の重量感があり、中型機の操縦の醍醐味を経験できました。しかし、離着陸を繰り返すなか、数分おきにエンジンが止められ、理論に基づく正しい操作が求められました。口頭試問もかなり突っ込んで聞かれ、慣れない英語で必死に答えたものでした。その後の実技試験科目では正しい操作で対処することができ、無事に双発飛行機の免許を取得できました。

こうして期限一杯まで存分に空への可能性に挑戦して、その日の午後サンノゼに戻ることにしましたが、折角なのでラスベガスも観光がてら一泊することにしました。カジノでは\$10の勝ちでした。大穴を狙わなければそこそ損はしないようです。翌日はロサンゼルススのロングビーチ経由でゆっくりと帰路につき、帰国までの最後の4日間はホームステイも体験してみて、ここでも色々といい経験ができました。

飛行機の魅力は、飛行技術の奥深さと飛ぶこと自体の楽しさ、そして交通手段としての価値にあると思います。アメリカでは燃料と保険料込みでセスナ機なら1時間\$40位でレンタルできます。東京～ロサンゼルススの往復チケットが5万円台で入手できる時代ですから、実用的にも充分楽しめ、行動範囲も広げることができました。今回取得した4つのライセンスは国内用にも書き換えて、国内外を問わず更に「空」と関わってゆきたいと思います。

最後に今回の航空留学にあたり、多大なご理解とご協力を頂いた取締役をはじめ関係各位の方々に対して心から感謝の意を賞します。

# おめでとうございます



県小田原保健所（藤井信雄所長）と県公衆衛生協会小田原支部（支部長＝小澤良明小田原市長）は11月24日午後2時から、同市南町の同保健所で「平成7年度保健衛生表彰式」を開いた。公衆衛生、医療、薬事などの保健衛生の伸展に努め、他の模範となる56個人、8施設、1団体を表彰した。医療分野では他の職種と共に放射線技師が3名表彰を受けた。被表彰者は下記のとおり（敬称略）

## 【小田原保健所長表彰】

◎医療関係功労 山近病院 西郷 重樹

## 【県公衆衛生協会小田原支部長表彰】

◎医療関係功労 小澤病院 田村 里江  
丹羽病院 高野 紀三夫

## 編集後記

編集作業をしていく上でパソコンあるいはワープロは必須である。私はまだWindows3.1を使用しているが、昨年のWindows95の騒ぎはすごかった。しかし、そんなに大騒ぎするほどのソフトでもないのだが、マスコミ挙げての大戦略には幼児からお年寄りまでがWindows95と口に出すほど知られ、世界長者番付No1のビルゲイツの野望がしたたかに感じられる。思えば昨年の4月に購入したノートブックは3ヶ月の周期でグレードアップされ続け、今では亀サン並の遅さ(DX2 50MHz)になってしまった。当時の予算があれば、今ではペンティアム75MHzのノートブックが買えてしまう。車メーカーの馬力競争ではないが、競争したすとユーザーは馬力信仰の鬼になってしまう。パソコンのCPU競争も似たところがある。休日になると延々続く渋滞の道をスカGの重いクラッチをふみ続ける兄ちゃんと年に一回の年賀状仕事が最大の使い道の我らおじさんとは共通している。後ろからカミさんが“あんたパソコンの使い道は？”の質問に思わず口ごもってしまう（^^； …そうだ編集の仕事がある。さて貴方は？ たか